わかるかわる 岡山市

桃太郎のまち岡山

岡山市広報連絡資料

令和7年5月20日

「ＪＯＣオリンピック教室」を開催します（竜操中学校）

公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）がオリンピック・ムーブメントの普及、啓発活動の一環として実施している「JOCオリンピック教室」を本市にて開催します。

1 開催日

令和7年5月28日（水）～30日（金）

2 場 所

岡山市立竜操中学校（中区赤田）

3 主 催

公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）

4 後 援

スポーツ庁

5 協 力

公益財団法人JKA、岡山市

6 教師役となるオリンピアン

①荒木 絵里香（あらき えりか） 先生 （バレーボール）
②大川 真澄（おおかわ ますみ） 先生（体操／体操競技）
③中野 紘志（なかの ひろし） 先生 （ボート ☆現ローイング）
④長岡 千里（ながおか ちさと） 先生 （ボブスレー）
⑤田山 真輔（たやま しんすけ） 先生 （スケルトン）
※プロフィール、主な成績等は別紙参照

7 内 容

JOC オリンピック教室とは、オリンピック出場経験アスリート（オリンピアン）が教師役となり、オリンピアン自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値がオリンピアンだけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活か

すことの出来るものであることを学習する授業です。

・実施対象　　中学校2年生　8クラス　計290名
　　連続2コマ(運動 50 分＋座学 50 分)の授業

日時		クラス	講師	内容
5／28(水)	2時限目(　9:55～10:45) 3時限目(10:55～11:45)	2年 A 組	荒木　絵里香　先生	運動(体育館) 座学(教室)
	4時限目(11:55～12:45) 5時限目(13:40～14:30)	2年 B 組	荒木　絵里香　先生	運動(体育館) 座学(教室)
5／29(木)	1 時限目(　8:55～　9:45) 2 時限目(　9:55～10:45)	2年 C 組	大川　真澄　先生	運動(体育館) 座学(教室)
	3 時限目(10:55～11:45) 4 時限目(11:55～12:45)	2年 D 組	中野　紘志　先生	運動(体育館) 座学(教室)
	5 時限目(13:40～14:30) 6 時限目(14:40～15:30)	2年 E 組	中野　紘志　先生	運動(体育館) 座学(教室)
5／30(金)	1 時限目(　8:55～　9:45) 2 時限目(　9:55～10:45)	2年 F 組	長岡　千里　先生	運動(体育館) 座学(教室)
	3 時限目(10:55～11:45) 4 時限目(11:55～12:45)	2年 G 組	田山　真輔　先生	運動(体育館) 座学(教室)
	5 時限目(13:40～14:30) 6 時限目(14:40～15:30)	2年 H 組	田山　真輔　先生	運動(体育館) 座学(教室)

※運動の内容について
・・・オリンピアンの専門競技の技術指導(スポーツ教室)ではなく、運動が苦手な生徒も参加できるように工夫された運動プログラム

※座学の内容について
・・・オリンピアン個人の経験等を通して「オリンピックの価値」等を分かりやすく伝えると共に、運動の時間を通じて感じたことを考えるもの

8　取材について

・運動の時間は、授業に支障のない範囲であればステージ側以外の3方向の壁際から自由に取材・撮影していただいて構いません。但しオリンピアンと生徒の間を移動することはご遠慮ください。

・座学の時間は、生徒及びオリンピアンが授業に集中できる環境を保つため、動画撮影場所は教室後方出入口付近とし、動画撮影時間は授業冒頭(10分程度、その後、機材を廊下へ移動)のみとします。写真撮影についてはその後も教室後方から自由に取材・撮影していただいて構

いません。動画及び写真撮影共に、廊下や教室内を移動しての撮影はご遠慮ください。
・スタッフは指定の場所以外で撮影を行う場合がありますので、予めご了承ください。
・通常授業時と同様の環境を保つため、運動・座学共にフラッシュを使用しての撮影はご遠慮ください。
・授業中にオリンピアンが使用する映像や写真、スライド等はオリンピアン個人の資料となるため、撮影はご遠慮ください。
・オリンピアン及び生徒への取材は、各日の座学終了後の実施となります。
・取材を希望する場合は、5月26日(月)までに取材時間等を担当者(スポーツ振興課)までご連絡ください。
・本事業は、換気や用具等の取扱いについて、感染症等拡大防止対策を一部講じて実施いたしますので、ご協力ください。

9 その他

・岡山市は「JOCパートナー都市」として、JOCが進めるオリンピック・ムーブメントの推進に協力しています。

【問い合わせ先】
岡山市スポーツ振興課　貞包(サダカネ)・羽田　　直通086-803-1616　内線4743

JOCパートナー都市

オリンピアン先生

荒木（あらき） 絵里香（えりか） 先生

【バレーボール】

■生年月日　1984年8月3日
■出身地　岡山県倉敷市
■出身校　倉敷市立北中学校－
成徳学園高校(現：下北沢成徳高校)－
早稲田大学大学院

プロフィール

小学校5年生からバレーボール競技を始め、高校2年時、春高バレーで優勝、卒業後は実業団に所属する。2008年シーズンは海外リーグへ挑戦し、同年に開催された北京大会に出場、2012年ロンドン大会では主将を務め、28年ぶりのメダル獲得に貢献。同年のプレミアリーグではチームとして優勝し、選手として最高殊勲選手賞を受賞。その後、出産のため一度競技から離れるが、復帰後の2016年リオデジャネイロ大会、続く2021年に開催された東京大会の4大会連続での出場を果たす。同年、現役を引退。2023年早稲田大学大学院スポーツ科学研究科修士課程を修了。現在はJOC理事及びアスリート委員を務めながら、バレーボール教室や講演会に参加する等、競技の普及や後進の育成に尽力している。

主な成績

<オリンピック競技大会>

2008年	北京大会	5位
2012年	ロンドン大会	銅メダル
2016年	リオデジャネイロ大会	5位
2021年	東京大会	10位

<国際大会>

2006年	アジア競技大会	2位
2011年	ワールドカップバレーボール	4位

<国内大会>

2012年	V・プレミアリーグ	優勝

バレーボール

ネットによって分けられた18m×9mのコートで、2つのチームがネット越しにボールを打ち合う球技。ボールを落とさずに、3回以内のタッチで相手コートに返球します。相手チームのサーブをレシーブし、トスを上げ、スパイクを打ちこむのが基本的な流れで、攻撃と防御を交互に行うことになります。個人の高い技能はもちろん、戦術を理解し共有する固いチームワークや協調性が求められます。

写真：JOC：フォート・キシモト

引用：JOC資料

オリンピアン先生

おおかわ　ます　み
大川 真澄 先生

【体操／体操競技】

■生年月日　1978年11月13日
■出身地　静岡県沼津市
■出身校　藤村女子中学校－
藤村女子高等学校－
順天堂大学

プロフィール

6歳で体操競技を始め、その後、本格的に競技に取り組むために、中学校入学を機に東京都に拠点を移す。中学3年時、国際ジュニア選手権ゆか種目で優勝、高校2年時にはアジア競技大会に出場し女子団体2位の成績を収める。世界選手権には1995年と1997年の2度出場。高校3年時にアトランタ大会への出場を果たす。現役引退後は、体操競技を通して礼儀、集中力、忍耐力、チャレンジ精神の大切さを伝えるために、小学生を対象とした体操教室を運営し、指導者として後進の育成に努めると共に競技の普及に尽力している。

主な成績

<オリンピック競技大会>

1996年	アトランタ大会	女子団体	12位

<国際大会>

1993年	国際ジュニア選手権	ゆか	優勝
1994年	アジア競技大会	女子団体	2位
1995年・1997年	世界選手権大会		出場

<国内大会>

1996年	全日本選手権大会	ゆか	優勝

体操／体操競技

器械を使用して演技を行い、技の難度や美しさ、安定性等を基準に審判員が判定を行う採点競技。男子は「ゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒」の6種目、女子は「跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆか」の4種目が行われ、それぞれの器具の特性を活かした演技で構成されます。それぞれの技や運動の難しさの程度は難度で表され、難度によって配点が異なります。

©1994 アジア競技大会

写真：JOC：ロイター/アフロ：フォート・キシモト

引用：JOC資料

オリンピアン先生

中野 紘志（なかの ひろし） 先生

【ボート】

（現：ローイング）

■生年月日　1987年12月1日
■出身地　石川県金沢市
■出身校　金沢市立浅野川中学校－石川県立金沢二水高等学校－一橋大学－同志社大学大学院

プロフィール

大学入学後にボート競技を始め、2009年世界U-23選手権に於いて日本人で初めて2位の成績を収める。2012年日本代表に選出され、2016年にプロに転向。同年、リオデジャネイロ大会への出場を果たす。2019年全日本選手権大会男子シングルスカルで優勝し、2020年に現役を引退。現在は同大学ボート部ローイングコーチとして後進の育成や競技の普及に尽力している。

主な成績

<オリンピック競技大会>			
2016年	リオデジャネイロ大会	軽量級ダブルスカル	出場
<国際大会>			
2009年	世界U-23ボート選手権大会	軽量級舵手なしフォア	2位
2014年・2015年	世界ボート選手権大会	軽量級シングルスカル	出場
<国内大会>			
2019年	全日本選手権大会	軽量級シングルスカル	優勝

ローイング

水上の直線コースでオールを使ってボートを漕ぎ、順位を競う競技。カヌーと逆で、進行方向に背中を向けて漕ぎます。ボートに足を固定し、レール上に設置されたシートが前後に動き、主に脚力を使って進みます。スタートからフィニッシュまで、艇がいかに速くたどり着くかを競うシンプルな競技ですが、2人以上のチームで行う種目が多く、チームワークが求められるため、息の合った美しい動きは観戦の醍醐味のひとつ。

写真：JOC：AP/アフロ：フォート・キシモト

引用：JOC資料

オリンピアン先生

ながおか　ちさと
長岡 千里 先生
【ボブスレー】

■生年月日　1976年4月5日
■出身地　兵庫県姫路市
■出身校　兵庫県立姫路商業高等学校－天理大学

プロフィール

大学時まで陸上競技を続け、卒業後にボブスレー競技を始める。2004年に活動拠点を長野市に移し、本格的に競技に取り組む。2006年オリンピック代表選考会の1ヶ月前に大怪我を負うが、諦めることなく選考会に挑み、トリノ冬季大会への出場を果たす。2006年・2007年全日本ボブスレー選手権大会で2連覇を達成、2010年に現役を引退。現在は企業に勤務しながら、講演会やイベント等に積極的に参加し、競技の普及や後進の育成に尽力している。

主な成績

<オリンピック競技大会>

2006年	トリノ冬季大会	2人乗り	出場

<国際大会>

2007年	ヨーロッパカップ ウィンターベルグ大会	2人乗り	8位
2008年	ノースアメリカンカップ カルガリー大会	2人乗り	6位
2008年	ボブスレー世界選手権大会	2人乗り	17位

<国内大会>

2006年・2007年	全日本ボブスレー選手権大会	2人乗り	優勝

ボブスレー

ボブスレーは「氷上のF1レース」とも呼ばれており、流線型をした鋼鉄製シャーシーのそりに乗り、全長約1400m前後の氷で造られたコースを疾走します。当初は男子だけの競技でしたが、ソルトレークシティー2002冬季大会から女子2人乗りが新種目として加わり、男子2人乗りと男子4人乗りを合わせて3種目となりました。競技は2日間で4回滑走し、合計タイムの一番速いチームが優勝となります。

写真：JOC：築田純/アフロスポーツ

引用：JOC資料

オリンピアン先生

たやま　しんすけ
田山 真輔 先生
【スケルトン】

■生年月日　1982年10月18日
■出身地　静岡県富士宮市
■出身校　富士宮市立大富士中学校－
静岡県立富士宮北高校－
愛知みずほ大学

プロフィール

大学1年時よりスケルトン競技を始め、大学卒業後は一般企業に勤務しながら同社内のスケルトンクラブを拠点に活動する。2009年の全日本選手権で優勝し、2010年に開催されたバンクーバー冬季大会への出場を果たす。2013年にはノースアメリカカップで優勝し、同年の全日本選手権で2度目の優勝を飾る。現役引退後は、スポーツイベントや講演会等に積極的に参加すると共に、後進の育成や競技の普及に尽力している。

主な成績

<オリンピック競技大会>

2010年	バンクーバー冬季大会	出場

<国際大会>

2005年	インスブルック冬季ユニバーシアード大会	4位
2013年	ノースアメリカカップ	優勝

<国内大会>

2009年・2013年	全日本選手権大会	優勝

スケルトン

スケルトンは、氷で造られたコースを鉄製のそりで滑り降り、そのタイムを競う競技です。この競技の特徴は、足を前にして仰向けで滑るリュージュや、そり内に座って滑るボブスレーと異なり、頭を前にして、腹ばいになってそりに乗ります。オリンピックでは4本滑走し、合計タイムで順位が決まります。

写真：JOC：ロイター/アフロ：築田純/アフロスポーツ

引用：JOC資料